



関係各位

平成 27 年 10 月 19 日

一般社団法人 神戸市サッカー協会
理事（医科学委員会） 戸祭正喜

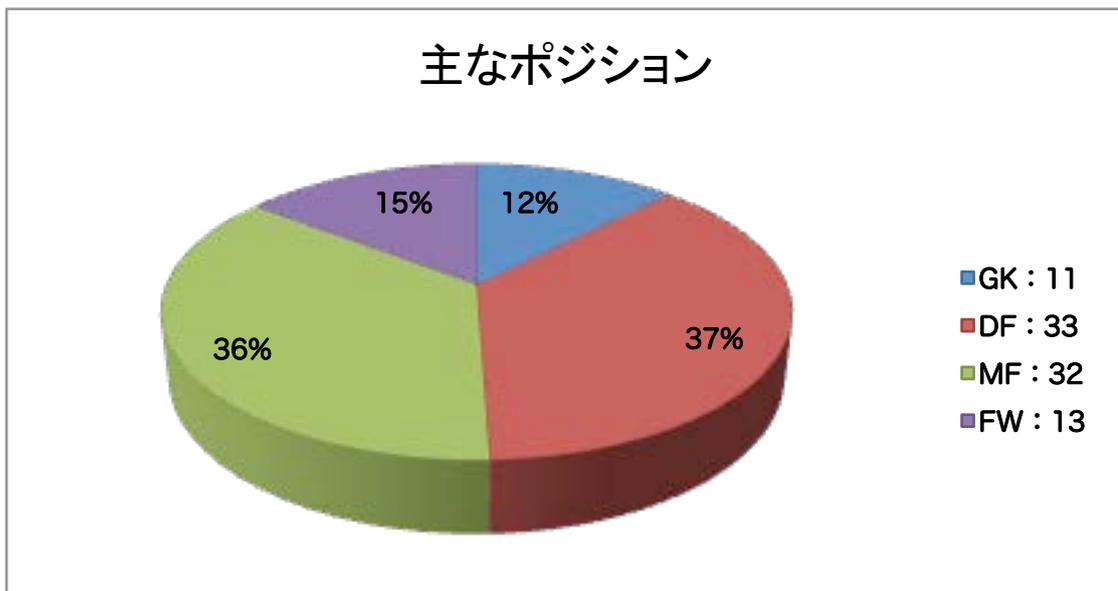
活動報告書（第 2 回神戸市サッカー協会医科学講習会）

1. 期 日：平成27年10月3日（土）17時30分から19時40分
2. 場 所：神戸市勤労会館 7F大ホール
3. 実施状況およびその内容
参加者は150名でした。
17:30～18:30まで戸祭が「現場におけるスポーツ障害の発生予防」について、PCプレゼンテーションにて講演を行った。
次いで、10分間の休憩の後に、18:40～19:40まで三菱電機ライフサービス(株)管理栄養士今井理沙が「サッカー選手として『食べる』ということ」について、PCプレゼンテーションにて講演を行った。
残った時間を利用して、聴衆からの質問を受け付け、質疑応答を行った。

参加者からの感想（アンケート用紙の内容を集計）

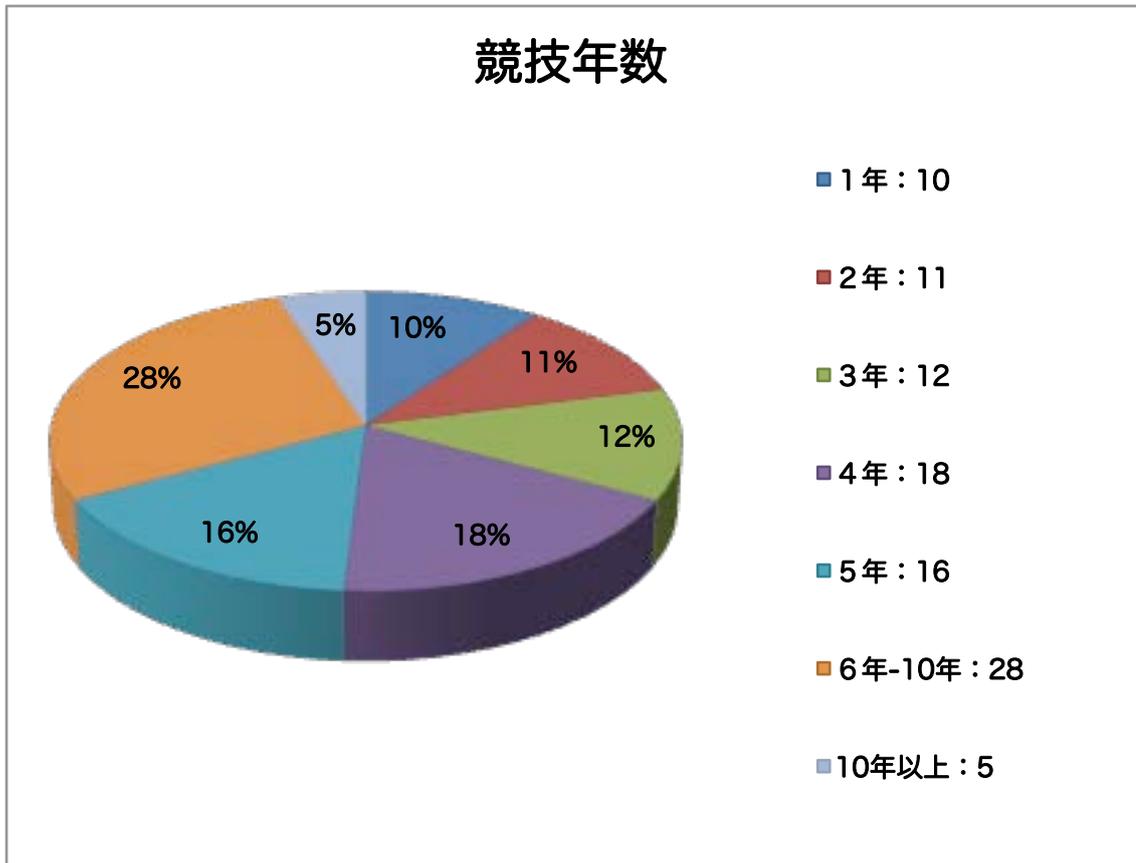
講習会の受付でアンケート用紙を134枚配布し、回収できたのは125枚（93.3%）でした。

【主なポジション】

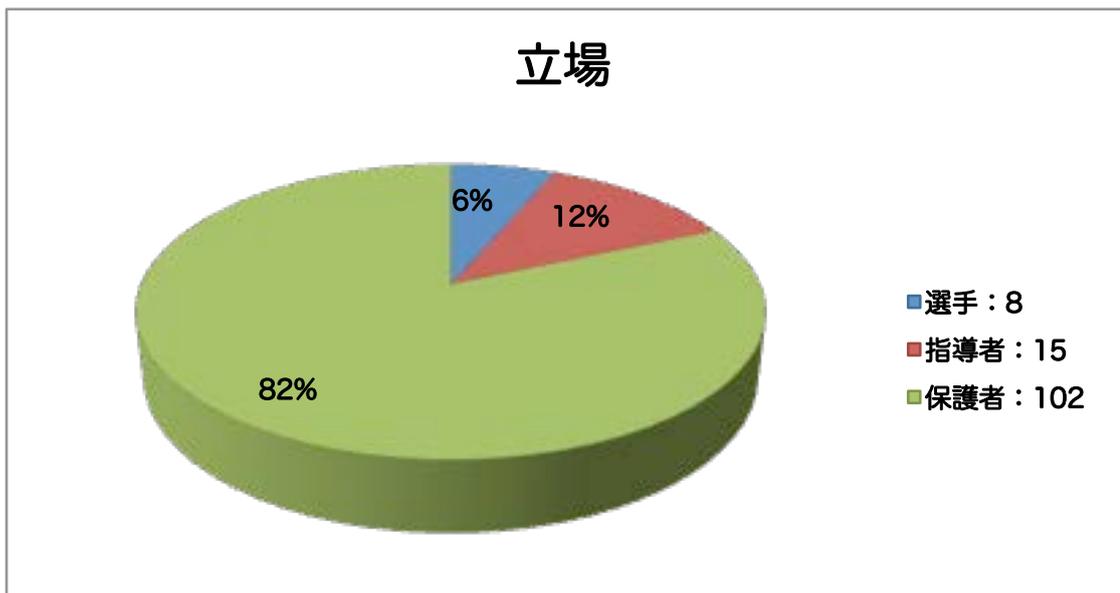




【競技年数】



【どのような立場で関係していますか？（複数回答可です）】



【現時点で、からだのどこかにスポーツ障害を抱えていますか？】

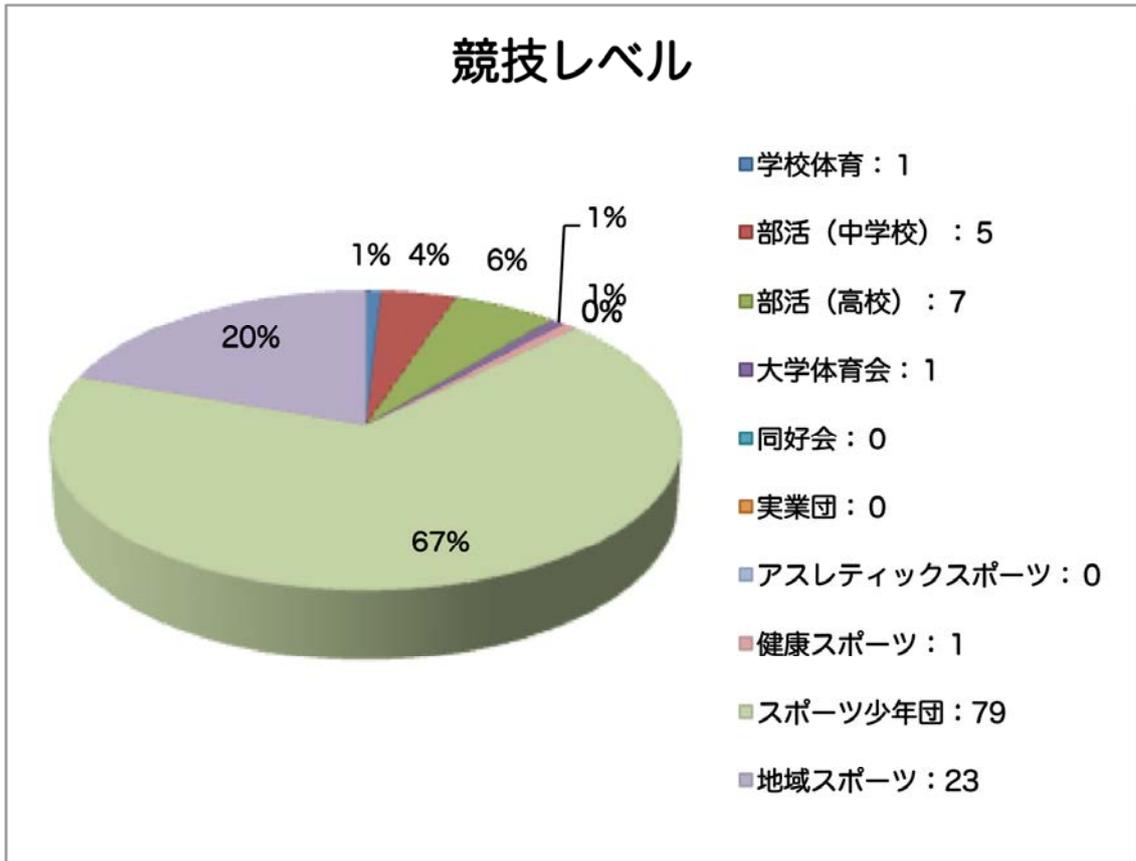
はいと回答されたのは2名（1.6%）でした。

このうち治療中と回答したのは8名、治療していないのが7名でした。

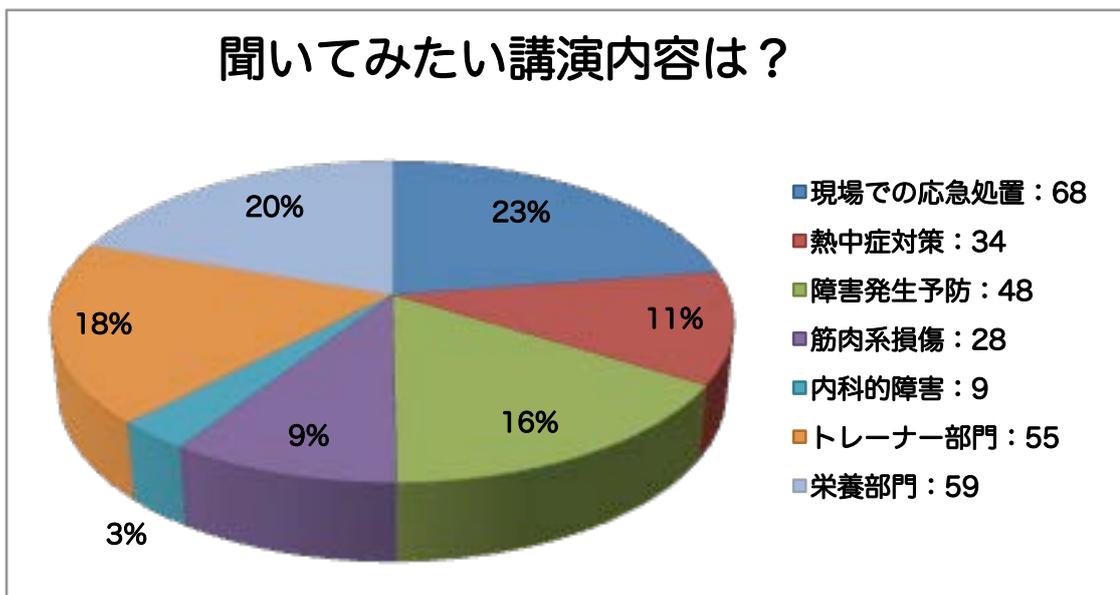
なしと回答されたのは93名（74.4%）でした。



【競技レベルについて】

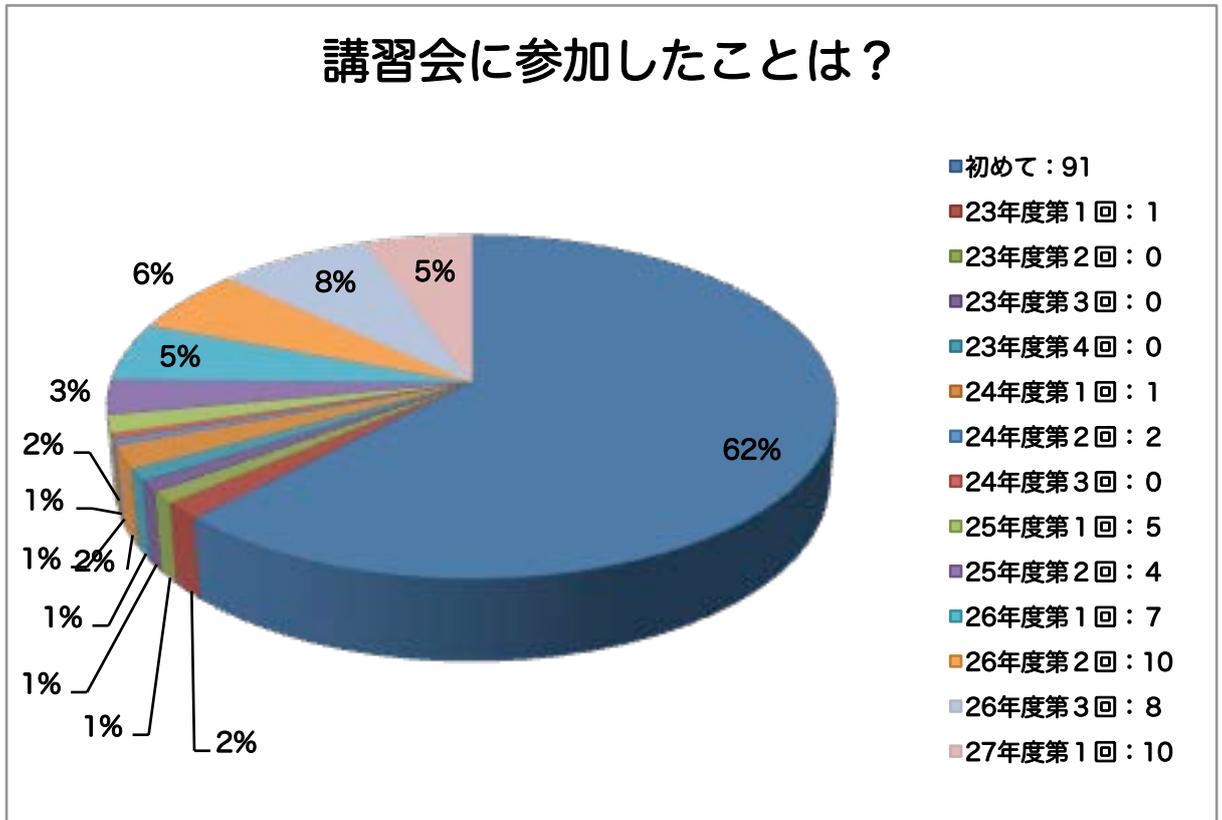


【聞いてみたい講演の内容はどれですか？（複数回答可です）】





【今までに神戸市サッカー協会医学講習会に参加したことはありますか？】



【その他の要望】

- ・プレゼンの資料を配付希望する（5名）
- ・怪我の予防とサッカーに必要なストレッチ（2名）
- ・試合前、当日、試合後の食べ方、補食の工夫
- ・直接子どもにトレーニング（ストレッチ）の指導をお願いします

4. 問題点および今後の課題

参加者は、平成23年度第1回が260名、第2回が150名、第3回が100名、第4回が10名、平成24年度第1回が180名、平成24年度第2回が150名、平成24年度第3回が100名、平成25年度第1回が162名、平成25年度第2回が151名、平成26年度第1回が133名、平成26年度第2回が144名、平成26年度第3回が117名、平成27年度第1回が150名と推移していますが、今回も134名と多くの人に参加していただきました。

競技レベル別でも、前回と同様にスポーツ少年団の選手、指導者、保護者が多く参加されており、67%を占めていました。

立場では、保護者の方が82%を占めていました。

今回は指導者の参加が15名あり（前回は11名）、特筆すべきは、各種委員会の尽力にて中学校、高校の関係者が増えてきていることです。



講演後の質疑応答でも、かなり積極的な意見交換ができたのは良かったと思われます。

今回の参加者のうち、新規の参加者が91名（62%）であり、複数回連続して受講していただいている参加者は減ってきているようです。

今後、聞いてみたい講演内容についても、大体前回とほぼ同じアンケート結果となっていました。現場での応急処置、栄養部門、トレーナー部門、障害発生予防の順に希望されている人が多かったです。

第2回の神戸市サッカー協会医科学講習会は、平成28年2月6日（土）17時30分から19時40分を予定しています。

講演内容については、「トレーナー部門」の講演を行う予定です。

怪我の予防とサッカーに必要なストレッチを教えたいと意見は多くみられますので、日本代表アンダーの全カテゴリーで導入されているムーブメントプレパレーションについて実技をかねて紹介したいと考えています。

対象は、保護者、指導者だけでなく、トレーナー、PTにも拡げるようにします。

23年度から5年間おこなってきた医科学講習会は、今年度で一旦終了となります。

27年度の講習会でも、継続して参加していただけるのは10名程度であり、大半が新規の参加者であることを考えると、まだまだ医科学の必要性は浸透していないようにも思えます。

28年度以降も何らかのかたちで『現場での応急処置、熱中症予防』、『障害発生予防、栄養』については伝えていく必要はあるので、各種委員会からの依頼を受けて講習会を開催するか、HPに記事を掲載するか、開催場所や時間なども含めて来年度が始まるまでにやり方を詰めていきたいです。